中国・四国地方

名前

問1　広島県廿日市市の宮島に位置する世界文化遺産について述べた文として、最も適切なものを次のうちから選びなさい。（2016年 和歌山県公立入試 類似）

1. 徳川家康を祀るために江戸時代初期に造営された、豪華な彫刻や装飾が施された神社である。
2. 平安時代の貴族の住宅様式である寝殿造が取り入れられ、海上に立つ大鳥居や社殿が特徴である。
3. 島根県に位置し、日本最古の神社建築様式の一つである大社造で建てられた社殿を持つ。
4. 核兵器の惨禍を伝えるために、被爆当時の姿のまま保存されているレンガ造りの建物である。

問2　香川県の讃岐平野において、地形図上に数多く点在していることが確認できる、農業用水を確保するために人工的に作られた池の名称を答えなさい。（2016年 群馬県公立入試 類似）

1. ダム
2. 用水路
3. 調整池
4. ため池

問3　中国・四国地方の気候区分において、日本海側の地域（松江など）で12月から2月の冬季に降水量（雪を含む）が多くなり、約400mmに達する主な理由は何ですか。（2021年 埼玉県公立入試 類似）

1. 梅雨前線や台風の影響を強く受けやすく、夏から秋にかけて湿った空気が流れ込むため。
2. 周囲を高い山に囲まれた盆地状の地形で、上昇気流が発生しやすいため。
3. 南東からの湿った季節風が太平洋から吹き込み、四国山地にぶつかるため。
4. 北西からの湿った季節風が日本海を渡る際に水蒸気を蓄え、中国山地にぶつかるため。

問4　降水量が少ない地域において、農業用水などを確保するために人工的に作られた「ため池」の役割と特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。（2026年 千葉県公立入試 類似）

1. 干ばつに備えて雨水などを蓄え、水田などの灌漑に利用するための重要な水利施設となっている
2. 都市化に伴う洪水被害を防ぐため、一時的に雨水を貯めて地下へ浸透させることを主な目的としている
3. 冬の間に降り積もった大量の雪を貯めておき、春先の融雪水としてのみ活用される施設である
4. 熱帯地方で見られるマングローブなどを育成するための、海水と淡水が混ざり合う特殊な池である

問5　四国地方にある4つの県について、各県の主要な農作物の収穫量を比較した統計において、みかん（かんきつ類）の年間収穫量が12万トンを超え、四国地方で最大の産地となっている県はどこですか。（2019年 兵庫県公立入試 類似）

1. 徳島県
2. 高知県
3. 愛媛県
4. 香川県

問6　瀬戸内海に位置する香川県の小豆島では、地域の気候特性を活かした農作物の栽培が盛んです。「年間を通じて降水量が少なく温暖である」という、地中海沿岸の気候に似た条件を活かして栽培されている特産物はどれですか。（2019年 兵庫県公立入試 類似）

1. りんご
2. さくらんぼ
3. さとうきび
4. オリーブ

問7　島根県東部における1989年と2019年の工業団地の分布を比較すると、近年は新しく整備された自動車専用道路（国道9号・54号のバイパス等）の沿線に工業団地が目立つようになっています。このような工業の立地傾向について述べた文として、正しいものはどれですか。（2024年 島根県公立入試 類似）

1. 大型船の入港を前提とした重化学工業が、内陸のバイパス沿いに進出した
2. 労働力を確保するため、駅前などの鉄道の利便性が高い場所に集約された
3. 騒音問題を避けるため、交通量の多い道路沿いから鉄道沿線へと移転が進んだ
4. 高速道路網の整備にともない、製品の搬出に適した道路沿いへの立地が進んだ

問8　1988年の瀬戸大橋の開通は、香川県を訪れる観光客の交通手段に大きな変化をもたらしました。当時の統計資料において、開通の時期を境に観光客数が急増し、年間約700万人が利用する最も主要な手段となった交通機関と、反対に利用者が急減した交通機関の組み合わせとして適切なものはどれですか。（2017年 富山県公立入試 類似）

1. 航空機と船舶
2. 自動車と船舶
3. 自動車と鉄道（JR）
4. 鉄道（JR）と航空機

問9　島根県の産業的特色について説明した文として、統計的な事実に基づき最も適切なものを次のうちから選んでください。（2019年 島根県公立入試 類似）

1. 観光業に特化した産業構造を持ち、第3次産業の割合が全国で最も高い一方で、県内に温泉地はほとんど存在しない。
2. 日本最大級の工業地帯を擁しているため、製造品出荷額が数十兆円に達し、第1次産業の就業者割合は極めて低い。
3. 第1次産業の就業者割合が約8%であり、製造品出荷額が1兆円を超える一方で、43箇所の温泉地などの観光資源を有している。
4. 第1次産業の就業者が半数を超えており、製造業はほとんど行われていないため製造品出荷額の統計が存在しない。

問10　愛媛県では、化学工業の製造品出荷額や野菜の産出額に比べて、果実産出額が非常に多いという産業上の特色があります。このように愛媛県で柑橘類の栽培が特に盛んになった理由として、最も適切な地理的条件はどれですか。（2019年 三重県公立入試 類似）

1. 大消費地である京阪神市場に隣接しており、野菜の近郊農業が発展したため
2. 瀬戸内地方特有の温暖な気候に加え、日当たりの良い傾斜地が豊富にあるため
3. 広大な平野部が広がり、大型機械を用いた効率的な大規模経営が可能であるため
4. 年間を通じて降水量が極めて多く、果実の成長に不可欠な水分を常に確保できるため

問11　吉備中央町における2014年から2021年にかけての農業の動向について、統計的な傾向を説明したものとして正しいものはどれですか。（2025年 宮城県公立入試 類似）

1. 品種改良によって収穫時期を分散させることには成功したが、経営規模や新規就農者の数については、期間を通じて大きな変化は見られない。
2. 高齢化による離農者が相次いだため、1戸あたりの経営面積は縮小したが、ブランド化による単価上昇によって果実の産出額は横ばいとなっている。
3. 耕作放棄地を工業団地へと転用したため、農地面積は減少しており、果実の産出額も2014年以降、減少傾向にある。
4. 新規就農者の受け入れと生産基盤の整備により、農家1戸あたりの経営面積が拡大し、それに伴って果実の産出額も大きく伸びている。

問12　岡山県を含む瀬戸内海沿岸の地域では、年間を通じて降水量が少なく晴天の日が多いという特徴があります。このような気候が形成される地理的な要因として最も適切な説明はどれですか。（2025年 愛知県公立入試 類似）

1. 平坦な地形が続いており、湿った空気が上昇して雨雲に発達するきっかけとなる高い山地が周辺に全く存在しないため。
2. 北側に中国山地、南側に四国山地があり、それぞれの季節風が運ぶ湿った空気がこれらの山地で遮られるため。
3. 日本海からの北西季節風が中国山地を越える際、フェーン現象によって大量の湿った空気がそのまま流れ込んでくるため。
4. 季節風の影響を直接受ける位置にあるが、対馬海流の影響で上昇気流が発生しにくく、雲が発達しないため。

答え合わせ・解説

問1	答え 2 平安時代の貴族の住宅様式である寝殿造が取り入れられ、海上に立つ大鳥居や社殿が特徴である。	厳島神社は、広島県宮島にある世界文化遺産です。平安時代末期に平清盛によって、当時流行していた貴族の住宅様式である「寝殿造」を神社建築に取り入れる形で現在の規模に整えられました。潮の満ち引きという自然の条件を巧みに利用し、海上に社殿が浮かんでいるように見える独特の景観を生み出しています。
問2	答え 4 ため池	香川県の讃岐平野がある瀬戸内地域は、四国山地と中国山地に挟まれているため季節風の影響を受けにくく、年間を通じて降水量が少ないという特徴があります。大きな河川も少ないこの地域では、稲作などの農業に不可欠な水を安定して確保するために、古くから人工的に水を貯める施設が数多く建設されてきました。
問3	答え 4 北西からの湿った季節風が日本海を渡る際に水蒸気を蓄え、中国山地にぶつかるため。	日本の冬はシベリア高気圧から北西の季節風が吹き出します。この冷たく乾いた風が日本海を渡る際に、対馬海流（暖流）の影響で大量の水蒸気を蓄えます。この湿った空気が中国山地にぶつかって上昇することで、日本海側に雪や雨をもたらします。対して、太平洋側ではこの風が山を越えて乾燥した風として吹き降ろすため、冬の晴天が多くなります。
問4	答え 1 干ばつに備えて雨水などを蓄え、水田などの灌漑に利用するための重要な水利施設となっている	ため池は、降水量が少なく大きな河川が少ない地域で、農業に必要な水を確保するための人工的な池です。雨が少ない時期でも水田に水を供給できるよう、雨水や小さな川の水を貯めておく「灌漑（かんがい）」の役割を果たしてきました。瀬戸内地域以外でも、同様の目的で全国各地に見られます。
問5	答え 3 愛媛県	四国地方の西側に位置する愛媛県は、年間を通じて温暖な気候に恵まれています。この気候条件を活かした果樹栽培が極めて盛んであり、みかんの収穫量は四国地方の他の3県を大きく引き離して最大となっています。一方で、香川県では小麦、高知県ではなすなどの生産が盛んであるといった、県ごとの農業の特色があります。
問6	答え 4 オリーブ	瀬戸内地域の「温暖で雨が少ない」という気候は、地中海沿岸に見られる地中海性気候と似た特徴を持っています。このため、乾燥に強く温暖な気候を好むオリーブの栽培に適しており、小豆島は日本における主要な産地として知られています。他の選択肢のうち、さくらんぼはりんごと同じく冷涼な気候を、さとうきびはより亜熱帯に近い高温多湿な気候を好みます。
問7	答え 4 高速道路網の整備にともない、製品の搬出に適した道路沿いへの立地が進んだ	近年の地方における工業立地は、道路交通網の発達に強く影響を受けています。バイパスや高速道路などの自動車専用道路は、信号が少なく安定した時間で製品を運べるため、製造業にとって大きな利点となります。島根県東部の事例でも、国道バイパスの整備に合わせて工業団地が形成されており、海辺の港湾や駅近くの立地よりも、陸上輸送の拠点となる道路沿いが選ばれている状況を説明しています。
問8	答え 2 自動車と船舶	1988年に瀬戸大橋が開通したことで、本州と四国が陸路で結ばれました。これにより、それまで主流だったフェリーなどの船舶を利用する観光客が激減する一方で、自家用車や観光バスといった自動車を利用する観光客が急増しました。この交通手段の変化は、移動時間の短縮や利便性の向上という背景に基づいています。
問9	答え 3 第1次産業の就業者割合が約8%であり、製造品出荷額が1兆円を超える一方で、43箇所の温泉地などの観光資源を有している。	島根県は、第1次産業の就業者割合が約8%と、全国平均よりも高い水準を維持しているのが大きな特徴です。製造業においては、特殊鋼や電子部品などの分野を中心に約1兆円強の出荷額を記録しています。加えて、玉造温泉や有福温泉など43箇所の温泉地といった観光資源も、地域の産業を支える重要な要素となっています。愛知県や大阪府のような大規模な重化学工業地帯とは異なる、農林水産業と製造業、観光業のバランスが取れた構造を理解することが重要です。
問10	答え 2 瀬戸内地方特有の温暖な気候に加え、日当たりの良い傾斜地が豊富にあるため	愛媛県の柑橘栽培が盛んな理由は、地形と気候の双方にあります。瀬戸内海沿岸は冬でも温暖で雪が少なく、柑橘の生育に適しています。また、海岸近くまで山地が迫っている地形は、水はけが良く太陽の光をたっぷり浴びることができる「傾斜地」を提供しており、これらが組み合わさることで高品質な果実が生産されています。降水量が多い地域や平野部での大規模経営、近郊農業の説明は、愛媛県の果樹栽培の主因とは異なります。
問11	答え 4 新規就農者の受け入れと生産基盤の整備により、農家1戸あたりの経営面積が拡大し、それに伴って果実の産出額も大きく伸びている。	吉備中央町の統計では、2014年から2021年にかけて営農規模（1戸あたりの面積）が26aから37aへと拡大しています。これは町による「ぶどう生産団地」の整備や共同出荷体制、研修制度の充実が功を奏し、意欲のある新規就農者が増えたためです。この経営規模の拡大に比例するように、果実の産出額も同期間で顕著な増加を示しており、地域の基幹産業としての成長が見て取れます。
問12	答え 2 北側に中国山地、南側に四国山地があり、それぞれの季節風が運ぶ湿った空気がこれらの山地で遮られるため。	岡山県が位置する瀬戸内地方は、北を中国山地、南を四国山地という険しい山々に挟まれています。冬の冷たく湿った北西の季節風は中国山地で、夏の湿った南東の季節風は四国山地でそれぞれ遮られ、山を越える前に雨や雪を降らせます。そのため、山地の間にある瀬戸内沿岸には乾燥した空気が流れ込むことになり、年間を通じて降水量が少なく晴天の多い「瀬戸内の気候」が形成されます。